

令和8年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校生美術2（日本文教出版）Ⅱ						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> 配置や視点の位置の変化で表現効果が大きく変る事を理解させる。 観察することを大切にし、色彩表現やもののボリューム感を、意識させる。 表現とは何かを考えさせ、感想、意見を述べる力を身につける。

2 学習の到達目標

<p>【知識及び技能】 美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 絵画・デザイン・造形の基礎を元に独創性のある作品作りを意識しながら制作に取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な美術の世界に興味関心を持ち、鑑賞・制作・表現することの喜びに親しむ。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1 学 期	人物クロッキー	<p>【絵画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式を学ぶ。 ・クロッキー 短時間で形の特徴を捉え、線の強弱で描く。 	<p>a: クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。</p> <p>b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。</p> <p>c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。</p>	ワークシート 作品 制作の様子	ワークシート 作品 制作の様子	学習活動の様子 制作の様子
	イラストレーション実習	<p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ 身近なモチーフをイラスト化する。 ・制作 絵しりとりとしてイラストボード上に配置する。アクリル絵の具で着色。 ・相互鑑賞 お互いの作品を鑑賞し意見、感想を発表する。 	<p>a: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を迫り表現している。</p> <p>b: モチーフを基に感性や想像力を働かせて、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成、質感などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: モチーフを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 完成作品	制作の様子 制作途中の作品 完成作品	鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
	静物デッサン	<p>【絵画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 モチーフの特色を知る。 ・構成 モチーフを構成する。 ・制作 形を正確に捉え、明暗、質感、量感に注意しながらタッチを重ねる。全体のまとまり、完成度に注意する。 ・相互鑑賞 お互いの作品を鑑賞し意見、感想を発表する。 	<p>a: モチーフの特徴を捉え、鉛筆の特性を活かし、表現方法を工夫して、写実的に表現している。</p> <p>b: 画面上で形や陰影が与える影響などを間あえて表現方法を考慮している。</p> <p>c: モチーフそのものに興味を持って制作できている。粘り強く時間をかけて作品に向き合うことができている。</p>	制作途中の作品 完成作品	制作の様子 制作途中の作品 完成作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート

2 学 期	紙 立 体 制 作	<p>【彫塑・立体造形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想 独自のテーマを発想。 全体の形状と表面のデザインを考案。 ・アイデアスケッチを作成する。 ・制作 ケント紙で骨格を作る。 独創性のある形作り。 様々な素材で表面を装飾。 独自のテーマを追求し、表現を深める。 ・相互鑑賞 プレゼンテーション 	<p>a: 目的や意図に応じて材料や素材の特性を活かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。</p> <p>b: アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、素材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを、下描きやワークシートを通し、自分の発想や構想をまとめている。作品をより良くする為の工夫をしている。</p> <p>c: 自己を表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。</p>	アイ ディ ア ス ケ ッ チ	アイ ディ ア ス ケ ッ チ	制 作 の 様 子	制 作 の 様 子			
				制 作 途 中 の 作 品	制 作 途 中 の 作 品	鑑 賞 ワ ー ク シ ー ト	鑑 賞 ワ ー ク シ ー ト	制 作 途 中 の 作 品	鑑 賞 ワ ー ク シ ー ト	
3 学 期	美 術 鑑 賞 (西 洋)	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁画、テンペラ画、油彩画などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。 	<p>a: 作品の特徴、技法、時代背景などを学び、理解しやすい形で系統ごとにまとめる。</p> <p>b: 作品の観察レポート制作から得た情報を他者に分かりやすく伝える。</p> <p>c: 西洋の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。</p>	鑑 賞 ・ 研 究 の 様 子	鑑 賞 ・ 研 究 の 様 子	レ ポ ー ト	レ ポ ー ト	鑑 賞 ・ 研 究 の 様 子	レ ポ ー ト	発 表 の 様 子
	名 画 に 入 り 込 む 自 画 像	<p>【絵画】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名画と自画像の融合 ・発想したテーマを基に構想を練る ・自分の表現意図に合う表現方法工夫する ・主題を追及し、表現を深める ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 	<p>a: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。</p> <p>b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に</p>	ワ ー ク シ ー ト	ワ ー ク シ ー ト	アイ ディ ア ス ケ ッ チ	アイ ディ ア ス ケ ッ チ	制 作 の 様 子	制 作 の 様 子	制 作 途 中 の 作 品

			取り組もうとしている。		鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 完成作品	鑑賞ワークシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度